



第 166 号

2022 年 2 月 7 日発行

TEL 0193-42-2111

FAX 0193-42-3855

発行 大槌町議会

「大槌高校シリーズ③」 (吹奏楽部)



主な内容	・年頭あいさつ	2
	・審議した議案	2~3
	・一般質問の項目	4
	・一般質問の内容	5~10
	・委員会活動報告	11

年頭のあいさつ

町議会を代表いたしまして、新年の御挨拶を申し上げます。

昨年の新型コロナウイルスの蔓延は我が国の経済活動、国民生活へ多大な影響を与え、不安感閉塞感が増大しましたが、ワクチン接種などの取組により希望の光が見え始めています。

町民の生活の安定・安心を支え、議会に与えられた役割を議員一丸となり取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症終息による日常生活の回復と災害のない穏やかで幸多き一年となりますよう御祈念申し上げます。



小 松 則 明 議長

令和3年12月定例会

令和3年12月定例会は、12月3日から9日までの7日間の会期で開催されました。今期定例会には、大槌駅観光交流施設の管理を行う指定管理者の指定、大槌町中央公民館及び大槌町城山公園体育館の管理を行う指定管理者の指定、令和3年度の各会計の補正予算など、議案12件、発議案1件が提案されました。

一般質問には6議員が登壇し、町当局の姿勢や施策をただしました。

◇議案一*

《条例の改正》

◎大槌町町道の構造の技術的基準等を定める条例の一部改正：道路法等の一部を改正する法律及び改正法に関する政令及び省令が公布、施行されたことに伴い、改正するものです。

(全員賛成・原案可決)

◎大槌町中央公民館及び大槌町城山公園体育館の管理を行う指定管理者の指定：

大槌町中央公民館及び大槌町城山公園体育館の管理を行う指定管理者の指定：

水道事業への補助金・出資金などにより補正し、歳入歳出予算に

円を追加し、予算の総額を117億4070万6千円とするもの

です。

(全員賛成・原案可決)

《予算》

◎令和3年度大槌町一般会計補正予算(第6号)を定めること：

新型コロナウイルス感染症対応に係る事

害児施設組合の解散に關し議決を求める

こと：令和5年3月31日をもつて岩

手県沿岸知的障害児施設組合を解散する

ことに関し、地方自治法第290条の規定

に基づき、議会の議決を求めるものです。

(全員賛成・原案可決)

《その他》

◎大槌駅観光交流施設の管理を行なう指定管理者の大槌駅観光交流施設の指定：大槌駅観光交流施設の指定管理者を、一般社団法人大槌町観光交流協会とするものです。(全員賛成・原案可決)

6号)を定めること：令和3年12月定例会(～9月)の開催に伴う運営業務委託料の増額、大槌学園擁壁のり面調査、仮設住宅用地の復旧、下

議会の動き

(11月)

6日・第19回大槌町社会福祉大会

8日・特別叙勲伝達式

12日・総務教民常任委員会

13日・おおつちまるごと復活まつり

18日・大槌町自治功労表彰審査会

19日・第9回全員協議会

20日・三陸御社地天満宮竣工式

25日・議会運営委員会

・岩手県後期高齢者医療広域連合議会定例会

29日・岩手沿岸南部広域環境組合議会11月定例会

30日・令和3年第3回臨時会

・議会運営委員会
2日・町村議会広報担当者研修会
(盛岡市)
3日・令和3年12月定例会(～9月)
・合同常任委員会
7日・第10回全員協議会
9日・議会報編集特別委員会
17日・合同常任委員会
21日・大槌町自治功労表彰式
22日・大槌高校魅力化構想会議
(1月)
18日・議会運営委員会
17日・議会報編集特別委員会
9日・大槌町成人式
17日・合同常任委員会
・議会報編集特別委員会
18日・議会運営委員会

審議した議案

議員の表彰



阿部義正議員が全国町村監査委員協議会から
町村監査委員7年以上在職者の表彰を受けました。

令和3年10月25日

◎大槌町議会の議員報酬等に関する条例の一部改正：す
る大槌町議会の議員の期未手当の支給割合を改定するものです。
(全員賛成・原案可決)

◎大槌町議会の議員報酬等に関する条例の一部改正：す
る大槌町議会の議員の期未手当の支給割合を改定するものです。
(全員賛成・原案可決)

◇ 請願一※ ◇ 発議案一※
《採択となつた請願》
◎東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の海洋放出方針を撤回し、安全な処理方法の確立を求める請願

◎東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の海洋放出方針を撤回し、安全な処理方法の確立を求める意見書の提出：東京電力福島第一原子力発電所におけるALPS処理水の海洋放出方針を撤回し、安全な処理方法の確立を求める意見書

理・保管方法を確立するよう求めるもので
す。(全員賛成・原案可決)

時会は11月30日に開催され、議案7件が提案されました。

◇議案一※

《条例の制定・改正》

◎大槌町予防接種健康被害調査委員会設置条例の制定：「予防接種法及び結核予防法の一部を改正する法律の一部等の施行について」による予防接種健康被害調査委員会の設置について、

◎一般職の職員の給与に関する条例の一
般の情勢に鑑み、大槌町議会の議員報酬等に関する条例の一部改定するもので
す。(全員賛成・原案可決)

◎令和3年度大槌町一般会計補正予算(第5号)を定めること：新型コロナウイルスワクチン接種業務委託料などにより補正し、歳入歳出予算に2千円とするものです。(全員賛成・原案可決)

第3回臨時会

◎町長、副町長及び教育長の給与に関する条例の一部改正：諸般の情勢に鑑み、町長、副町長及び教育長の期末手当の支給割合を改定するものです。(全員賛成・原案可決)

《予算》

定例会・臨時会議員出欠表

議席番号	議員氏名	12月定例会		第3回臨時会	
		12/3～12/9		11/30	
		出席	欠席	出席	欠席
1	菊池 忠彦	4	0	1	0
2	白澤 良一	4	0	1	0
3	佐々木慶一	4	0	1	0
5	澤山美恵子	4	0	1	0
6	阿部 三平	4	0	1	0
7	東梅 守	4	0	1	0
8	阿部 俊作	4	0	1	0
9	東梅 康悦	4	0	1	0
10	欠員	—	—	—	—
11	金崎 悟朗	4	0	1	0
12	阿部 義正	4	0	1	0
13	芳賀 潤	4	0	1	0
14	小松 則明	4	0	1	0



12月定例会一般質問の項目

1 冨澤 良一 議員
P5

- ①町職員の不適切な事務処理について
- ②震災伝承の在り方について
- ③通学路における交通安全対策について

2 澤山美恵子議員
P6

- ①役場職員の不祥事について
- ②空き地対策について
- ③（仮称）乗り合いタクシー事業について

3 芳賀 潤 議員
P7

- ①今後の中心市街地（区画整理事業地内）の空き地対策について
- ②磯焼け対策の拡充と海の学校（ダイバー養成所）について
- ③介護等従事者の人材確保施策について

4 菊池 忠彦 議員
P8

- ①震災伝承プラットフォームについて
- ②御社地天満宮について
- ③高齢者の見守りについて

5 阿部 俊作 議員
P9

- ①文化財について
- ②漁業の振興策について

6 佐々木慶一議員
P10

- ①公共交通について
- ②大槌学園生の通学について

※ 12月定例会の会議録は、2月下旬（予定）に町のホームページに掲載されます。

<https://www.town.otsuchi.iwate.jp/gyosei/docs/437662.html>

※ 12月定例会の You Tube への配信について町のホームページに掲載しています。

<https://www.town.otsuchi.iwate.jp/gyosei/docs/437526.html>

町職員の不適切な事務処理を公表すべき

厳正に対処し、再発防止に務める



臼澤良一議員



町職員の不適切な事務処理について
え、目配り、気配りを心がけ、未然防止に務める。

【問】主権者である町民に公表し、信頼回復のため事故防止対策を作成すべきと考えるが。

【問】町役場内で事務局を担当している任意団体の数と経理の対応状況を伺う。

【答】(平野町長)

職員の懲戒処分は、関係法令等に照らして厳正に対処し公表する。職員の規範意識の向上を図り、法令遵守を徹底させ、再発防止に務めていく。

【問】課内における未然防止対策は。
【答】(平野町長)
これまでの教訓を踏ま

【答】(平野町長)
震災伝承の在り方について
22件であり、複数の職員で会計事務を行うなど問題発生の未然防止に取り組んでいく。

【問】ワーキンググループの開催に係る周知方法について伺う。

【答】(平野町長)
広報誌、町ホームページ、記者会見等で周知のほか、電話、メール等で参加を呼びかけている。

【問】ワーキンググループでの意見に対する考え方について伺う。

【答】(平野町長)
忌憚のない意見をいただきながら震災伝承の場の整備や震災語り部等の仕組みを構築していく。また、参加者がイメージしやすい工夫を図り議論を深めていく。



仮看板が設置された旧役場庁舎跡地

【問】震災伝承の場の整備方針について伺う。

【答】(平野町長)
「旧役場庁舎跡地」と「旧民宿あかぶ跡地」は町の震災津波被害の象徴的な場であることから、整備対象とした。

【問】スクールバスの運行に係る通学方法の変更について、保護者からの意見が出されたのか。また、通学練習での検討や対策等について伺う。

【答】(沼田教育長)
保護者からの意見、質問はなく、通学練習は円滑に実施されたので検討事項はない。



大槌学園児童の下校風景



澤山美恵子議員



防集団地住民、町民バス通ると思つていた

走らないとも、走るとも言つていなか

役場職員の不祥事について

【問】生涯学習課職員による修繕工事費の未払いが10月に報告された。震災後に発生した不祥事11件のうち、平野町長就任後が9件。今年度、未処分の2件を足すと11件になる。これ以上増えれば、町長の責任問題につながりかねない。

【答】（平野町長）（誰にでも）誤りはある。議会や町民に公表、処分し、なくなるような組織改革に取り組むことが私の責任だ。

【問】不祥事がなくならぬ理由の一つとして、処

分の在り方にも問題があるのではないか。少しでも早く処分できる方法や、連帯責任を強化するなど

あると思う。何の見直しもせずにまた起きたらどうするのか。

【答】（北田副町長）何か重大な見落としがあると思っている。これから全面棚卸をさせる。必要なことを出して、どうすればいいか実践していきたい。

空き地対策について
【問】土地区画整理地内の空き地状況は。



城山から見た空き地

【答】（平野町長）安渡で205筆中50筆、吉里吉里で274筆中50筆、筆中320筆、36・3%。

を考へていると思うが、安渡と赤浜でも4分の1、吉里吉里でも5分の1が空いている。町方以外は住宅用地で使われているというならば、住宅用地としての対策も必要では。

【問】当局は、町方地区での事業用地としての対策

【答】（太田企画財政課長）人口増加を図るような

（仮称）乗り合いタクシーサービスについて

【問】事業の対象は、高台の防集団地やその周辺に住み、免許がない人また

【答】（太田企画財政課長）走らないとも言つていなが、走るとも言つてない。

は65歳以上の人。一人片道500円で、行き先や運行曜日、便数が限られる。事前登録や前日までの予約も必要。この事業は「防集団地住民が坂を上ぐるのに大変だ」ということから始まったのではないか。住民は、町民

【答】（北田副町長）それほど防集団地の方々のお困りが強いのであれば、再考せざるを得ない。

海の学校（ダイバー養成所）の事業化を

運営についての協議・調査を開始する



芳賀 潤 議員



磯焼け対策の拡充と海の学校（ダイバー養成所）について
【問】大槌を拠点としたダイバー養成所を設置し事業化することを計り知れない効果があると考える。漁業面では、磯焼けの緩和、藻場の再生、ウニ、アワビ、海藻などの海産資源の復活。

町の活性化の視点では、経済効果、人材育成につながり、その人材資源を活用して、さらなる藻場再生事業を充実させることが可能。また、全国のダイバーが当町を訪れ、三陸の海の魅力を感じ全国に発信することにより、町の魅力発信、交流人口の拡大にもつながる。

教育的観点からは、児童・医療・福祉従事者等の

【答】（平野町長）
利用率は、前回の平成28年から30年にかけて実施した意向調査を基に、空き地であっても所有者に利用意向がある土地は、利用率に反映させている。今回は改めて目視で空き地状況を踏まえた調査のため、利用率は前回調査と異なることから、今回の調査で最新の数値を把握し意向結果をまとめ、来年2月に報告したいと

今後の中心市街地（区画整理事業地内）の空き地対策について
【問】令和3年3月の土地の利用率は78・5%、居住人口は53・1%のその後について伺う。

今後の中心市街地（区画整理事業地内）の空き地対策についてを考えている。

【問】土地を取得して住宅建設を考えている方の意向調査を行う予定はあるのか。

【答】（平野町長）

住宅建設に関する需要が低迷しているものと捉えており、意向調査の実施は考えていない。今回の調査項目で空き地所有者の現在のお住まいの形態や空き地について、今後の管理を含めた活用方法や活用に当たつての問題や課題について調査することから、住宅建設の意向を含めた調査と捉えている。

磯焼け対策の拡充と海の学校（ダイバー養成所）について
【問】大槌を拠点としたダイバー養成所を設置し事業化することを計り知れない効果があると考える。漁業面では、磯焼けの緩和、藻場の再生、ウニ、アワビ、海藻などの海産資源の復活。

【答】（平野町長）
ダイバー養成所については、担い手育成や交流人口の拡大につながる事業検討が必要であると認識している。しかしながら、町内関係者の意識向上と大槌湾側での磯焼け対策の拡大、ウニの蓄養実験などを安定的な事業にすることが優先と考えている。運営について、藻場再生協議会と協議・調査を開始する。

介護等従事者的人材確保施策について
【問】人材確保の現状に対する認識と、対応策について見解を伺う。

【答】（平野町長）
介護等従事者的人材確保施策について
【問】人材確保の現状に対する認識と、対応策について見解を伺う。

童生徒が地元の海を題材にした環境学習を行う際の一助になり、幼いうちからの体験学習などから、将来の大槌町の担い手育成につながる。当局の見解を伺う。

どのような問題や課題を抱えているか全体の傾向を分析し、にぎわいの創出や移住定住促進など、地域経済の好循環につながる施策を実施できるよう中長期的な視点で検討していく。

どのように問題となつており、大変厳しい状況と考えている。その中で、町内の福祉サービスの運営維持を各法人に依存するだけではなく、行政も対策を講じていく必要があり、宿舎補助制度については、地域医療介護総合確保基金を活用した、介護職種に特化した宿舎の借り上げ支援の事業化を岩手県に探し提案している。

また、人材確保対策は介護職に限らず、福祉全般の問題であると認識しており、現在、児童福祉事業で展開している従事者の支援制度を参考に福祉・医療全般における問題点の解決に向けた支援制度の創設について引き続き検討していく。



菊池忠彦議員



旧役場庁舎跡地の利活用はどうなる

趣旨が伝わるものを使いこなす



旧役場跡地に設置された震災伝承の仮看板

震災伝承プラットフォームについて

【問】ワーキンググループに参加し、様々な意見を耳にしている立場から次の点を伺う。

旧役場跡地に関し、町の方策は伝承の場といふ位置づけにしているが、「追悼・鎮魂の祈りの対象物」設置の考えは。

【答】（平野町長）

追悼・鎮魂の場については、5年度に完成を目指す（仮称）鎮魂の森に整備する方針としていることから、町が主体となる、追悼・鎮魂の祈りに關する対象物を設置することは考えていない。

【問】震災伝承の一環として、被害状況や教訓、QRコードを記した仮看板

を旧庁舎跡地、旧民宿あかぶ跡地に設置公開（12月公開済）としているが、仮看板の本設も含めて、これらが果たす役割についての見解は。

【答】（平野町長）

東日本大震災の事実と教訓を広く永く後世に伝え、二度とこのようないくつを繰り返さないためのものであると考える。様々な検討をいただきながら、50年、100年先にも、その趣旨が伝わるものを使いこなす

いきたい。

【答】（平野町長）

旧役場跡地の整備後のイメージとして、伝承の場であることと併せ、子供たちが楽しく遊べる場であり、町内外の多くの方が訪れやすい雰囲気のある場であってほしい

【答】（沼田教育長）

東日本大震災の事実と教訓を広く永く後世に伝え、二度とこのようないくつかを繰り返さないためのものであると考える。様々な検討をいただきながら、50年、100年先にも、その趣旨が伝わるものを使いこなす

【答】（沼田教育長）

旧役場跡地の整備後のイメージとして、伝承の場であることと併せ、子供たちが楽しく遊べる場であり、町内外の多くの方が訪れやすい雰囲気のある場であってほしい

【答】（沼田教育長）

後のイメージとして、伝承の場であることと併せ、子供たちが楽しく遊べる場であり、町内外の多くの方が訪れやすい雰囲気のある場であってほしい。

【答】（沼田教育長）

では昭和63年11月の指定時を基本として取り扱っているが、町を語る上で欠かせない場所の一つである御社地の歴史的事象を視野に入れながら、復元の在り方について改めて文化財保護審議会に諮り検討していく。

【答】（沼田教育長）

の一つとして「前川家文書（前川善兵衛関連）」が活用されるなど、新しい形態が生まれつつあることから、引き続き関係課と連携を深めていく。

【答】（沼田教育長）

御社地についても歴史的事象を視野に入れながら、

【問】ワーキンググループにおいて、旧庁舎跡地にモニュメント設置を提案する意見も出ており、遊び場とする意見も出ている。遊び場と震災伝承の相関性について伺う。

【答】（沼田教育長）

観光振興のコンテンツの一つとして「前川家文書（前川善兵衛関連）」が活用されるなど、新しい形態が生まれつつあることから、引き続き関係課と連携を深めていく。

【問】政教分離の観点から、文化財指定された昭和63年当時の復元以外は認められないとしているが、震災伝承の相関性について伺う。

【答】（沼田教育長）

菊池祖晴（よしづね）にまつわる展示や講演等の顕彰事業の実施を検討するなど、関係課、関係団体とも連携して協議を進めていく。

津波被災石碑はどうする

天満宮遺訓碑は復元する



阿部俊作議員



文化財について

【問】文化財専門員の仕事と募集人数を伺う。

せる。

【答】(沼田教育長)

大槌の貴重な歴史文化を掘り起こし研究を深め、しっかりと後世に伝えるため専門員を一名募集した。主な業務内容は、文化財の調査、保護、管理活用の検討、埋蔵文化財包蔵地の発掘調査など文化財事務を担当してもらう。

【問】文化財活用の考えを伺う。

【答】(阿部生涯學習課長)

御社地にあった石碑は今年度内に御社地公園への移設を予定している。安渡地区仮置きの石碑は地区内に移設するなど協議を進める。

【問】津波被災を受けた石碑はどうするのか。

せん。

【答】(阿部生涯學習課長)

御社地を開催して町民に貴重な文化財を知ら

【答】(沼田教育長)

御社地の構成を成す構築物で重要性を確認して復元に向けて努める。

【問】政教分離についてどう思うか。

【答】(沼田教育長)

国や地方公共団体が宗教的に中立であることを要求する憲法上の原則と捉える。

【答】(平野町長)

岩手県黄金のウニ収益

【答】(岡本産業振興課長)

令和元年度から始まった「岩手大槌サーモン」の生産は、計画数量を大幅に上回る160%の水揚げとなり、令和4年の水揚げも期待している。

【問】海上養殖の展望・波及効果と課題について伺う。



御社地天満宮

の話があるが、大量に水を上げることには不安がある。「このエリアでの事業を伺う。」

【問】漁業の振興策について

【問】ウニの養殖の今後と鮭のふ化・稚魚の育成について伺う。

【問】駅裏に養殖施設建設

の話があるが、大量に水を上げることには不安がある。「このエリアでの事業を伺う。」

【答】(岡本産業振興課長)

課題や事業の進め方など事業の可能性を検討している段階で、活用方針は決定していない。

【答】(岡本産業振興課長)

令和元年度から始まつた「岩手大槌サーモン」の生産は、計画数量を大幅に上回る160%の水揚げとなり、令和4年の水揚げも期待している。

【答】(岡本産業振興課長)

計画は1億3千万円と見込んでおり、効果は大きい。

【答】(岡本産業振興課長)

体制の構築である。そのため、11月25日に岩手大槌サーモン推進協議会を設立し、新たな特産品創出と生産拡大に取り組んでいく。



佐々木 慶一 議員



デマンドタクシー実証事業の目的は

主に高台に居住する高齢者の足の確保

公共交通について

【問】4月から始まるデマンドタクシー実証事業とは。

【答】(太田企画財政課長) 復興事業で高台に居住するようになつた、特に車を持たない高齢者や、免許を持たない人を中心には時刻制限はあるものの安い料金で自宅の近くから主要施設まで利用できるタクシー運行実証事業。

【問】乗り場と降りる場所はどのようにとどろか。

【答】(太田企画財政課長) 乗る場所は、近くのゴミステーションを含む主

要施設。降りる場所は、ショッピングセンター、病院、役場、郵便局、駅等の主要施設がある場所。

予約等の手続きがわざらわしい」と感じる人がいるかもしれないが、それに対する対応は。

【問】デマンドタクシー利用者は、高齢者が多くなると思われる。「事前登録や利用する場合の事前

【答】(太田企画財政課長) 事業の実施前に、各地域に入つて事前説明をしつかり行っていく。



高台に整備された住宅団地

大槌学園生の通学路について

【問】来年4月からは、安渡・桜木町・生井沢方面のスクールバスが廃止となり、主に3年生以上の児童は徒步通学となる。

【答】(太田企画財政課長) 通学路中に危険な場所はないか。

【答】(杉田学務課長) 安渡の立体交差部分に歩道がなく、危険な場所と認識している。

【問】その場所への対応は。

【問】歩道の在り方を検討している。



通学路として危険な安渡の立体交差部

大槌学園生の通学路について

【答】(杉田学務課長) 毎年、下校時に避難訓練を実施している。自分の命は自分で守ることを

練を実施している。自分の命は自分で守ることを最優先に考え、最寄りの高台に避難しようとする意識の高揚と行動の育成に努める。

委員会活動報告

大槌高校「Simulation
おおつち2030」テーマ説明会出席



総務教民常任委員長（芳賀潤 議員）

現在、大槌高校が町と協働して行っている高校魅力化推進事業の一環として、毎年実施している「Simulation o o t c h 2 0 3 0」

おおつち2030に、町議会が地域課題の6つのテーマを提案して、その課題に対し高校生がでることを構想する取り組みが行われています。

去る10月6日、総務教民、産業建設の両常任委員長が、大槌高校で開催されたテーマ説明会に出席し講義をしました。

生徒たちは熱心に聞き入り、「地域の現状を初めて具体的に知った」という生徒も多く、グリー プワークでは活発な意見が交わされました。テーマは次のとおりです。

総務教民常任委員会



産業建設常任委員長（菊池忠彦 議員）

①高齢化社会の中でも、医療・介護サービスを安定的に提供するための担い手育成の仕組みを考えよ

②魅力的なふるさと科のカリキュラムを考えよ

③持続可能な地域コミュニティの再生に向けた施策を考えよ

①農業の担い手増加のための施策を考えよ

②大槌町のごみの排出量を減らすための施策を考えよ

③大槌町へのU・Iターン者増加のための施策を考えよ

産業建設常任委員会

町議会を傍聴してみませんか

町議会定例会は、3月、6月、9月、12月の年4回、役場3階の議場で開かれます。町で今何が課題となっているかなど、議場での議員の活動を実際に見て、知っていただく機会です。傍聴の手続きは簡単ですので、ぜひ傍聴にいらしてください。また、定例会の様子は「おおチャンネル」、「Y o u T u b e」でも視聴いただけます。

●3月定例会は3月3日(木)開会予定です
(予定は変更される場合があります)



表紙写真とタイトル



撮影日の3日後の12月25日に開催されるアンサンブルコンテストに向けた練習であることを二人の部長、石井さゆりさんと高橋さくらさんから伺いました。

生徒の皆さんがあなたのことを思い出して胸が熱くなりました。青春つていいですね。

表紙の写真は、令和3年12月22日に大槌高校で撮影した「吹奏楽部」の生徒さんたちです。部員は現在9名（1年生3名、2年生6名）とのことで、この日は7名で活動していました。

おおづち

表紙タイト
ルは、前号に
引き続き大槌
高校3年生の
菊池華歩さん
の作品です。
菊池さん、
ありがとうございました。



「よろしくお願いします(^^♪」



委員長	阿部 俊作
副委員長	菊池 忠彦
委員	東梅 康悦
委員	澤山 美恵子
委員	白澤 良一

議会報編集特別委員会

新委員の紹介をします。
任期は2年です。

▼寒さも一段と厳しくなりましたが、皆様にはお健やかにお過ごしのことをお喜びを申し上げます。
日頃は、お力添えを賜り、心よりお礼を申し上げます。
新たな年を迎える頃に、皆様にとって本年もご多幸がありますように、お祈りいたします。

（澤山美恵子）

編集後記